

## 多自然川づくり取り組み事例

タイトル：淀川の天然アユを京都の料亭へ	
水系/河川名：淀川水系淀川・桂川	河川分類：大河川
河川の流域面積：8240km <sup>2</sup>	整備計画流量：2900m <sup>3</sup> /s(W=1/20) セグメント：2-2
事業：環境整備	事業開始年度 平成22年度
目標設定：定性的	段階：C(モニタリング・評価時)
課題・目的(主な)：貴重種、特定動植物の保全、縦断的連続性の保全・再生・創出	
工法(主な)：魚道、落差工、帯工等の整備	
配慮事項(主な)：委員会、協議会等の開催	

### 背景・課題、目標設定

#### <背景>

大阪湾より淀川を遡上するアユは、淀川大堰や上流の井堰などの河川横断構造物を通過する必要がある。

特に桂川の3号井堰ではアユの蝸集が確認されており、平成25年度に右岸魚道の改良工事を行ったが、多くのアユが水叩きと呼ばれる堰の下流部に迷い込む状態は解消されなかった。

#### <目標>

- ・淀川下流から上流までの河川の連続性を確保し、3号井堰に蝸集している天然アユを遡上させる。
- ・京都の料亭等に届く天然アユを増やし、淀川上流域の地域活性化を図る。



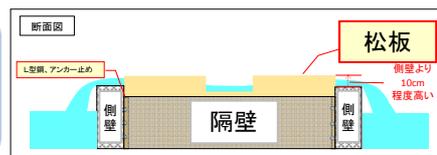
桂川3号井堰改良工事(H26.2)

### 取り組み内容・対策例

3号井堰右岸魚道では、“小技”によるアユの遡上対策を行った。

#### ”小技”の主な内容

- ・右岸魚道の隔壁に側壁よりも少し高さのある松の板堰を設置
- ・誘導壁沿いに形成されたみお筋を土嚢で遮断



板堰の設置により、魚道から水叩きへ越流させ、魚道側面からの遡上ルートを確認した。誘導壁沿いのみお筋を遮断することで、魚道を見つけやすくした。

### モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

#### <モニタリング結果>

”小技”改良前と比べて、右岸魚道のアユ遡上数が大幅に増加し、水叩きに蝸集しているアユが大幅に減少した。つまり、“小技”により水叩きに蝸集していたアユが魚道側面より遡上することが可能になったと考えられる。



水叩きから魚道内にジャンプするアユ

#### <今後の対応>

出水等により一部の板堰が流出したため、板堰の素材を金属等に変更するなどの対策を行い、再度モニタリングを行う。

今年度は関係機関や市民団体と連携して調査や遡上対策を行った。来年度以降においても、地域と連携しながら、上流域へのアユの遡上数を増やし、地域活性化に寄与していく。



### 備考

問い合わせ先 近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川環境課

電話番号 072-843-2861